

事業計画書

(第 29 期)

自 令和 7年 4月 1日
至 令和 8年 3月 31日

笠間工芸の丘株式会社

第 29 期営業計画について

(2025 年 4 月 1 日より 2026 年 3 月 31 日)

日本経済は、政府の国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策による景気押し上げ効果や、今後も高い賃上げの達成が継続的に見込まれます。

人手不足が加速するなか、優秀な人材を採用しようと高額な初任給や時給を打ち出す企業が続出するなど、内需を中心に底堅く成長することで持続的な成長が期待されます。しかし、一方で第 2 期トランプ政権による関税政策は国際的な景気変動に大きな影響を及ぼすことが予想され予断を許しません。

当期は、2023 年より続いた大規模改修工事も終了し、2025 年 3 月 22 日より全面営業を再開することとなりました。改修では、施設全体の機能性や安全性を高めると同時に、顧客満足度の向上や LED 照明や空調システムなどを導入することで、エネルギー使用量を削減し、運営コストの削減にもつながり、CO2 排出量の削減、ひいては環境対策の貢献へと繋がる改修となりました。

改修後のリニューアルオープンを積極的にアピールすることで、施設の注目度が上がり、公園利用者や周囲への来訪者の増加になるよう一層の努力をし、事業生産性の向上とブランディング推進の両輪で展開していきます。

第 29 期(2025 年 4 月 1 日より 2026 年 3 月 31 日まで)の営業計画を、次のとおり策定いたしました。当期計画は、売上高目標額として 284,000 千円を設定いたしました。

部門別の売上高計画は、次のとおりとなります。

区 分	売上計画額	構 成 比
物 販 部 門	72,500 千円	25.0%
工 房 部 門	47,000 千円	16.6%
カフェ 部門	58,000 千円	20.4%
作家展示室部門	32,000 千円	11.3%
ミュージアムショップ	19,000 千円	6.7%
海外事業部門	800 千円	0.3%
企画展 部門	10,500 千円	3.7%
管 理 部 門	40,100 千円	14.1%
そ の 他	4,100 千円	1.4%
合 計	284,000 千円	100.0%

売上高に伴う原価は、107,021 千円(原価率 37.7%見込み)を計上いたしました。従って粗利益として 176,979 千円を推定いたします。

次に、販売管理費につきましては、給与・賃金・福利厚生費等の人件費のほか、光熱水費、施設管理経費など 165,500 千円を推定いたします。以上の結果、第 29 期の損益予想は、諸税調整前で経常利益 11,479 千円となります。

したがって、未払消費税額 9,000 千円を見込み、最終税引き後損益といたしまして、2,479 千円の収益を見込んでおります。

今期も、前期同様に伸び続ける物価や賃上げ、人手不足など課題も多くある中で、収益を上げることが難しい状況が続きますが、従業員一同努力してまいります。